

## 平成 29 年広島県就業構造基本調査結果の要約

### 1 現 況

#### 〔15 歳以上の就業状態〕

- 有業者は 145 万 8,500 人，無業者は 99 万 4,900 人  
※生産年齢人口（15～64 歳）の有業者は 125 万 8,500 人，無業者は 38 万 5,500 人
- 有業率は男性が 68.9%，女性が 50.7%  
※生産年齢人口の有業率は男性が 83.6%，女性が 69.3%で男女とも上昇
- 有業者を産業別にみると「製造業」が 25 万 6,400 人と最も多く，全産業に占める割合は 17.6%
- 職業別では，男性は「生産工程従事者」，女性は「事務従事者」が最も多い
- 主な収入の種類は 5 割以上が「賃金・給料」
- 雇用者数は 131 万 3,400 人，有業者に占める割合（雇用者比率）は 90.1%で，このうち男性が 72 万 2,700 人（同 89.1%），女性が 59 万 700 人（同 91.2%）
- 雇用者（役員を含む）のうち「正規の職員」は 77 万 1,700 人，全体の 58.8%を占める
- 女性は「20～29 歳」以外の年齢階級で「非正規の職員」の割合が高い
- 雇用者（役員を除く）は「雇用契約期間の定めがない（定年までの雇用を含む）」者が 68.4%，「雇用契約期間の定めがある」者が 22.4%
- 産業別では，「宿泊業，飲食サービス業」（77.7%），「生活関連サービス業，娯楽業」（52.3%）などで「非正規の職員」の割合が高い
- 職業別では，「運搬・清掃・包装等従事者」（69.6%），「サービス職業従事者」（61.8%）などで「非正規の職員」の割合が高い
- 雇用者（正規の職員）の所得は，男女とも「300～399 万円」の所得階級が最も多い
- 「非正規の職員」は，男女とも低い所得階級に分布
- 男性雇用者の 5 割以上が年間「250 日以上」就業
- 「パート」，「アルバイト」では年間「250 日未満」が約 8 割
- 「週 35 時間未満」及び「週 43～48 時間」の雇用者の割合が増加
- 「パート」，「アルバイト」では「週 35 時間未満」が 5 割を超える

#### 〔就業異動の状況〕

- 「医療，福祉」では，同一産業内での転職の割合が特に高い
- 女性の離職は「労働条件が悪かったため」，「病気・高齢のため」の割合が高い
- 「25～34 歳」の女性の離職は，「出産・育児のため」の割合が高い

#### 〔世帯の就業状態〕

- 世帯主が有業の世帯割合は増加
- 世帯主が無業の世帯では，6 割以上が世帯所得 300 万円未満
- 共働き世帯は夫婦から成る世帯総数の 5 割弱
- 妻の有業率は，妻が「40～49 歳」の世帯で最も高い
- 有業の妻の雇用形態はパート就労の割合が最も高い

#### 〔就業を取り巻く状況〕

- 雇用者（役員を除く）に占める「非正規の職員」の割合は 37.3%で，男性は 20.3%，女性は 57.0%
- 若年無業者（いわゆる『ニート』）は 1 万 1 千人
- 育児をしている女性の有業率は，「45 歳以上」を除き 6 割台にとどまる
- 育児をしている雇用者のうち「育児休業等制度を利用」している者は 15.9%

- 介護をしている者の男性の有業率は、平均より低い
- 介護をしている雇用者のうち「介護休業等制度を利用」している者は7.6%
- 「60～64歳」の有業者及び就業希望者は男性で約8割、女性で約6割
- 雇用形態別にみると「雇用者」の割合が男女とも上昇
- 従業上の地位別にみると「60歳以上」の「正規の職員」の割合が男女とも上昇
- 産業別にみると「65歳以上」では男性は「卸売業、小売業」、 「農林水産業」、女性 は「卸売業、小売業」、 「医療、福祉」の割合が高い
- 職業別にみると「65歳以上」では男性は「農林漁業従事者」、女性 は「サービス職業従事者」の割合が高い
- 起業者の78.7%が男性、女性 は21.3%
- 起業者は男女とも「65～69歳」が最も多い

## 2 前回調査等比較

### 〔15歳以上人口の就業状態〕

- 有業者は5万8,800人増加、無業者は▲6万3千人減少  
※生産年齢人口の有業者は1万2,700人増加、無業者は▲10万7,100人減少
- 有業率は2.4ポイント上昇（男性は0.9ポイント上昇、女性は3.8ポイント上昇）  
※生産年齢人口の有業率は4.9ポイント上昇（男性は2.2ポイント上昇、女性は7.3ポイント上昇）
- 女性の年齢階級別有業率のM字カーブの底が「35～39歳」から「30～34歳」へ移行
- 産業別で「医療、福祉」、 「卸売業、小売業」などで増加、「製造業」、 「運輸業、郵便業」などで減少
- 雇用者数は、7万4,800人増加（男性は2万4,500人増加、女性は5万300人増加）
- 雇用者比率は1.6ポイント上昇（男性は1.3ポイント上昇、女性は1.7ポイント上昇）

### 〔就業異動の状況〕

- 雇用形態間の異動でも非正規化が進展
- 転入超過産業は「サービス業」など、転出超過産業は「宿泊業、飲食サービス業」など

### 〔世帯の就業状態〕

- 世帯主が有業の世帯は2万9,600世帯増加、世帯主が無業の世帯は▲1千世帯減少
- 世帯総数、世帯主が有業の世帯割合は増加

### 〔就業を取り巻く状況〕

- 雇用者（役員を除く）に占める「非正規の職員」の割合は上昇が続いているが、男性は0.4ポイント上昇、女性は▲0.6ポイント減少
- 高齢者の雇用者（役員を除く）割合が男女とも上昇
- 「60歳以上」の「正規の職員」割合が男女とも上昇

## 3 主要指標の全国比較

- 有業率は20位（男性17位、女性22位）  
※生産年齢人口の有業率は21位（男性17位、女性25位）
- 雇用者（役員を含む）に「正規の職員」の占める割合は25位（男性18位、女性26位）
- 管理的職業従事者の女性比率は31位
- 週間就業時間週60時間以上比率は37位